

4つの戦略で VMware by Broadcom にまつわるリスクを管理

VMware by Broadcom による昨今の動向は、世界中の IT 組織が直面する変化とリスクを加速させています。2027年10月の VMware Cloud Foundation (VCF 9) への移行期限を控える中、企業が自らの主導権のもとで適応を進められる期間は狭まりつつあります。価格体系の変更、バンドル（一括）販売のみへの移行、柔軟性の低下に加え、ハードウェアの可用性に関する懸念やサプライチェーンの遅延といった問題が浮上しており、多くの組織が予期せぬインフラ刷新の決断を迫られています。これらの変化は、コストの高騰、サポート選択肢の縮小、将来のイノベーションに対する不確実性を招き、予算を圧迫してモダナイゼーションの足かせとなるリスクを孕んでいます。

今こそ、行動を起こすべき時です。ITリーダーは、サイバーセキュリティリスクの管理、AIの統合、運用のシンプル化を進めると同時に、インフラのモダナイズ、コストの最適化、そしてイノベーションの実現を、多くの場合、通常よりも前倒しのスケジュールで達成しなければなりません。もはや「変化が必要か否か」ではなく、「どのように確信を持って前進するか」が問われているのです。この新たな現実に適応するために構築すべきITインフラには、以下の要件が求められます

- ・ ビジネスニーズの進化に合わせて適応できる柔軟性と拡張性（スケーラビリティ）
- ・ 一貫性と統制を確保するための、オンプレミス、エッジ、クラウドにまたがる統合運用
- ・ 変革を強力に推進するための、仮想マシン（VM）、コンテナ、エンタープライズAIへの対応
- ・ パフォーマンスを犠牲にすることのない、コストの透明性確保とリスクの低減
- ・ 外部ストレージやハイブリッドクラウドソリューションの活用による、サプライチェーンの制約に強いインフラの構築

Nutanixは、4つの鍵となる戦略によってリスクを低減し、ITインフラのモダナイゼーションを強力に後押しし、組織をハイブリッド・マルチクラウドの未来に向けてビジネスを準備できるようにサポートします。

1 モダンプラットフォームで将来を見据えた構築を

これは、単なる「同等構成」へのリプレイスではありません。Nutanix は、イノベーションのスピードスピードを落とすことなく、[確信を持って前進](#)するための強力な支援を行います。AIやモダンアプリケーション、その他の新たなワークロードに対しては、統合型ハイパーバイザーであるNutanix AHVを含む、ハイパーコンバージド構造のNutanix Cloud Infrastructure (NCI) を導入し、既存ワークロードについては従来のレガシー SAN をそのまま維持・併用することが可能です。また、Microsoft SQL Server、SAP ERP、開発・テスト、ディザスタリカバリ、エッジといった、現行のワークロードを新たな拠点へ展開することで、インフラ環境の多様化を容易に実現できます。

2 レガシーSANをNutanix Cloud Platformへ刷新

業界をリードするハイパーコンバージドインフラストラクチャーをベースとしたNutanix Cloud Platform (NCP) のソリューションを導入することで、従来のSANインフラが抱えていた[複雑性を排除し、シンプルな環境へと刷新](#)できます。NCPは、AI やクラウドネイティブアプリケーションだけでなく、従来のビジネスに不可欠なミッションクリティカルなアプリケーションに対しても、最適化されたパフォーマンスと高可用性を備えたクラウドライクなエクスペリエンスを提供します。さらに、Nutanix ライセンスには、ハイブリッド・マルチクラウド展開のために設計されたフル機能のエンタープライズグレード・ハイパーバイザーである Nutanix AHV が追加コストなしで標準搭載されています。

3 オンプレミスとクラウドの最適なリバランス

[ワークロードをパブリッククラウドへ移行](#)することでリスクを低減したいとお考えであれば、Nutanixが最適な解を提供します。Nutanixは、ライセンスのポータビリティに加え、Microsoft Azure、Google Cloud、AWSへのシームレスな移行を実現するため、コストと時間のかかるアプリケーションのリファクタリング（再設計）やリプラットフォームの手間を一切排除します。また、クラウドマーケットプレイスでクラウドサービスや Nutanix ライセンスを購入することにより、既存のクラウドクレジットの有効活用や、クラウド消費コミットメントの達成に向けた確実な一歩を踏み出すことができます。

4 既存のVMware投資を最適化し価値を最大化

[Nutanix は VMware ソリューションとシームレスに統合](#)できるため、現在お持ちのVMware vSphereライセンスをそのままモダンなプラットフォームに適用することができます。実績ある当社のハイパーコンバージドインフラストラクチャー上で、最新のコンテナ化アプリケーションと従来のVMアプリケーションを並行運用することで、オンプレミス、クラウド、エッジのどこにおいても、将来的な不確実性のリスクを抑えつつ、現在のVMware ライセンスから継続して最大の価値を引き出すことが可能です。さらに、[Dell](#) や [Everpure](#) をはじめとする主要な外部ストレージベンダーの製品とNutanixを組み合わせることで柔軟に運用することも極めて容易です。

お客様の声

「最終的にはVMwareから離れ、Nutanixへと移行する予定です。Nutanixの方がサポート体制が手厚く、技術的にも最新であり、あらゆる面で非常に優れていると感じています。」

Paul Straton

IT インフラストラクチャーおよびクラウド運用マネージャー
ロンドン・ガトウィック空港

「Nutanixの導入によって驚異的なコストメリットを実感しています。今後のニーズを支え続ける拡張性の高いバックボーンとして、将来にわたって大きな価値をもたらしてくれると確信しています。」

Bob Fishtrom

情報技術サービスディレクター
マウンテンビュー・ロスアルトス高校学区

今すぐ始める VCF 9 移行期限を迎える前にやるべきこと

VMware by Broadcomが打ち出した2027年10月までのVMware Cloud Foundation (VCF 9) への移行が事実上必須となり、企業が自らの主導権のもとで対策を講じられる時間は刻一刻と短くなっています。Nutanix は、Nutanixは、移行が不可避となる前に、業務への混乱を抑え、リスクを最小化し、コストをコントロールするための具体的な道筋をご提案します。世界中で 3 万社以上のお客様をサポートしてきた確かな実績と、業界をリードする「10年連続でNPS（ネットプロモータースコア）90+」という非常に高い顧客ロイヤリティに裏打ちされたNutanixであれば、インフラの転換をシンプルかつ迅速に進めることが可能です。直感的で使いやすい移行ツール、充実したトレーニング、プロフェッショナルサービス、そして最適化されたマイグレーションのブループリント（設計図）を提供し、VMwareからNutanixへの確実なステップアップを強力にサポートします。

[詳しく見る](#)